

基本目標Ⅲ | 希望と活力に満ちたまち

11 | 恵まれた土地を生かした農林業

施策範囲

農業・林業・漁業・農商工等連携・ブランド化・地産地消



現状と課題

- 基幹産業である地域農業について、安全・安心な食づくりを基本とした持続的な発展をめざし、「第3期恵庭市農業振興計画」(平成23～32年度)に基づく施策を実施しています。恵庭市の農業は、米の生産調整拡大に伴い、野菜等の都市近郊型農業への転換や規模拡大に取り組んでいますが、農業者の高齢化や後継者不足に伴い、地域集落機能の低下や、効率的な農地集積、労働力の確保が課題となっています。
- 適切な森林整備と保全を目的とした、「恵庭市森林整備計画」(平成25～34年度)に基づき、市内全体の発展方向に十分留意しつつ、後世に継承すべき貴重な財産として、健全な森林資源の維持や、農村地区に点在する周辺環境林の森林整備と保全を図っています。また、森林が持つ多面的機能を積極的に活用し、地域材の利用促進等を進めています。
- 平成24年度より、地域産業活性化の取組みとして「農商工等連携」に取り組んでおり、平成25年2月に、その取組みを促進するための連携・交流プラットフォームとして、「恵庭市農商工等連携推進ネットワーク」を設立し、新商品開発に向けた取組みを始めています。

基本方針

- 森林地帯と田園環境の保全や、収益性の高い都市近郊型農業の発展を図るとともに、農地集積による経営規模拡大・集約型農業を推進し、経営体質の強化を図っていくため、行政、農業者、農業関係機関等が連携し、一体となって、多様な取組みを行います。
- 農商工等連携による地域経済活性化を目的に、企業と農業者とのパートナーシップにより、単発の商品開発で終わらない実質的な成果をめざして、長期的な視点で取り組んでいきます。

前期計画の
重点施策

- 11-1 生産基盤整備の充実
- 11-2 経営の強化と担い手の育成・確保
- 11-3 農商工等連携による地元農畜産物を生かした商品開発、ブランド化の推進

成果指標	数値目標		
	現状(平成26年度末)	目標(平成32年度)	備考
農畜産物を購入するときに恵庭産であることを意識する市民の割合(市民アンケート)	69%		

持続的な
まちづくりの
取組み

- 恵庭市農業振興計画や恵庭市森林整備計画の見直し・策定
- 新規就農者の育成
- 農産物の生産支援
- 森林整備に関する担い手の育成
- 農商工等の異業種間交流・連携による、地域の農畜産物を活用した商品開発やブランド確立

わたしたちが
できること

- 安全・安心な食生活や地産地消の推進のための、地元農産物の積極的な購入
- 新規就農に向けた取組
- 地域経済活性化を促進するための、企業・農業者間の連携と情報共有
- 農商工等連携による製品の積極的な購入

個別計画

恵庭市農業振興計画 / 恵庭市鳥獣被害防止計画 / 恵庭市森林整備計画 / 地域木材利用推進方針